



「えほんデビュー」をきっかけにおはなし会に参加した、(左から) 氏家拓人君、笹谷優君、瀬戸口葵さん。

参加者の声

- プレゼントの絵本「がたんごとん」は、家庭では選ばないような絵本でしたが、子どもはとても気に入っています。
- 塩竈に住んで15年、「えほんデビュー」をきっかけに図書館を利用するようになりました。いろいろな絵本に出会える読み聞かせを参考に絵本選びをしています。
- 育児に関する本のコーナーがあり、とても便利です。
- 赤ちゃんも大人もさまざまな人と関わりが持てるので楽しいです。
- これからも親子でもっと図書館を利用したいと思っています。



自然に絵本に手が伸びてしっかり見つける赤ちゃん



ふれあいあそびでは赤ちゃんとお母さんの笑顔がいっぱい



さまざまな絵本の世界に出会えます



私と市民図書館

塩竈市杉村惇美術館学芸員
阿部沙斗加さん

幼いころ、よく母に連れられ図書館に通っていました。当時、私は本を読むことはあまり好きではなく、アニメのビデオや図鑑を見て楽しんでいました。

特に絵画に興味を持ち、図書館の本で世界の画家や名画に出会いました。それ以来、美術に関することが好きで、現在は美術館で絵画に携わる仕事をしています。

図書館は、人にあらゆるきっかけを与え、それぞれの感性を育む場所でもあると思います。



読書記録帳

小学生までの子どもたちに、自分が読んだ本を記録に残し、読書を深

く楽しむことを提案しています。

図書館利用登録者の希望者に配布します。1冊の記録帳に30冊の本を記録できます。詳しくは、4階こどもの本のカウンターでお気軽におたずねください。



市民図書館は、家族みんなの読書活動を応援します。家族みんなでお越しください。

市民図書館 ☎ 365-4343

赤ちゃんから絵本「えほんデビュー」

赤ちゃんとのおはなし会を応援します

初めての本との出会いを応援します



市では、家庭での読み聞かせを通して親子で触れ合い、本に親しんでもらおうと「えほんデビュー」に取り組んでいます。

「えほんデビュー」では、図書館員が7カ月児健康相談に出向き、読み聞かせを行います。また、「絵本」と「赤ちゃん絵本」のリストを贈り、市民図書館で「おはなし会」をご案内します。

これまで、延べ約1,400人の赤ちゃんに絵本をお渡ししました。

「えほんデビュー」で絵本を受け取り、絵本の楽しさを知ったら、「ぴよぴよおはなし会」に参加しませんか。

「ぴよぴよおはなし会」は、1歳までの赤ちゃんと保護者を対象に、子育て支援センターの保育士と図書館員が読み聞かせやふれあい遊びを行います。

絵本を通して、赤ちゃんとのコミュニケーションの楽しさを感じ、絵本が大人にとっても面白いものであることを知っていただくひとときです。

また、子育て仲間との出会いやふれあいの場にもなっています。

おはなし会「ぴよぴよおはなし会」